

佐野 章 様

ありがとうございました。  
この度は、このような大きな大会を開催していただき  
心より感謝申し上げます。  
五ヶ月ぶりに集まり、自チームのユニホームを着ることの出来る選手。  
その姿を見ることの出来る保護者の方々。  
同じユニホームを着てグラウンドに立てる私。  
その喜びは、何事にも変え難いことでありました。  
絆甲子園は、大切な仲間と白球を追い、声を掛け合い、励まし合い  
プレーする喜びを再認識させ、また野球の奥深さや勝利する事の困難  
さをあらためて感じさせてくれました。  
この大会で、技術、精神的に成長したことを実感する者。  
また普段の力を発揮出来ず悔しがる者。  
成長を感じた者は、必ず来る次への試練のスタートを切りました。  
悔しがる者は、大きく成長することへのスタートを切りました。  
私も指導者としての未熟さを痛感し、再スタートを切りました。  
私たちは今大会後、以前のように離れ、生きていきますが、  
この大会を通じてあらためて感じたチームの絆、今大会を開催してい  
ただいた多くの関係者の方々との暖かい絆、感謝の心を大切にして、  
明日へと力強く歩み始めます。  
ありがとうございました。心よりありがとうございました。

相双中央リトルシニア 監督 松本伸哉